

防災通信

特集 ハザードマップの活用方法

ダブルエッチジャーの皆様こんにちは。突然ですが皆様はハザードマップというものをご存じでしょうか？実際に研修等で見たことがある方も多くいるとは思いますが特に水災害について取り上げるときによく使われています。この「ハザードマップ」ですが国土地理院の説明によると「自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図」とのことです。このハ

ザードマップは印刷物として各戸に配られたり、役所などで入手したりすることができたり。またインターネット上でも自由に閲覧することができ、これらのハザードマップを見れば、どの地域でどのような災害が発生しうるか分かるようになってきます。閲覧できる災害の種類については洪水と土砂災害にはほぼ全国すべての自治体がハザードマップを作成、公開していますが、その他の地域のリスクに応じた

対策がとられています。では実際にハザードマップについて見ていきましょう。サイト等で「ハザードマップ」と検索するとおそろしく一番最初に国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」が出てくると思いますが、ハザードマップポータルサイト内には「重ねるハザードマップ」と「わがまちハザードマップ」の2つのコンテンツがありますので自分の知りたい情報に合わせて選択していきます。「重ねるハザードマップ」のサイトでは通常

のハザードマップのように災害ごとに分かれて作られているのではなく、自分で必要な情報を選択しながら個々の災害のリスクを同時に表示することができます。なので複数の災害リスクの把握や避難場所、土地の特徴などを整理するのに非常に適しています。また、その土地の航空写真も表示することができて視覚的にも分かりやすいように工夫されています。次に「わがまちハザードマップ」ですがこれは市町村が法令に基づき作成・公開したハザード

サイガイ人襲来

P.N セッキー



俺はサイガイ人
 災害対策のエリートだ
 災害時には障がい者の
 底知れぬ戦闘力が役に立つ
 可能性があることを
 教えてやるぜ



これは**発電床**
 二の上を歩くと発電ができる
 歩いていないと落ち着かない人には
 まさか(う)つてくれ



音力発電
 声も電力になるぞ
 声の振動を電気に
 変換できるんだ
 ※実験段階です



何よりも大切なことは
 地域に住んでる(宇宙人含む)
 全員が協力し合い、
 乗り越えていくことだ!!

ドマップへのリンク集のようなコンテンツです。自分が閲覧したいハザードマップを地図や災害種別などから選択して表示することが出来ます。どうでしたか？ハザードマップはその地域における災害に対応する

有効なツールであることが分かると思います。皆様も各施設やご家庭でもぜひ一度、ご自身に関係のある地域を調べてみて情報を共有しながら、有事の際の対策を考えてみてはいかがでしょうか？(松原)

ハザードマップポータルサイト

身のまわりの災害リスクを調べる

使い方

よくある質問

利用規約/オープンデータ配信

身のまわりの災害リスクを調べる

重ねるハザードマップ

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

地域のハザードマップを閲覧する

わがまちハザードマップ

市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップへリンクします。

住所から探す

住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることができます

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

現在地から探す

現在地から探す

新機能(災害リスク情報のテキスト表示)について

地図から探す



災害の種類から選ぶ



都道府県
 市区町村
 ハザードマップの種類

この内容で閲覧

重ねるハザードマップとは？

01

わがまちハザードマップとは？

02

防災に役立つ災害リスク情報などを地図や写真に自由に重ねて表示することができます

全国の市町村が作成したハザードマップを地図や災害種別から簡単に検索することができます



防災に役立つ情報を一元的に閲覧できます



必要な情報を自由に重ね合わせる

<活用例1> 「土石流危険渓流」+「事前通行規制区間」+「洪水浸水想定区域」+「道路冠水想定箇所」

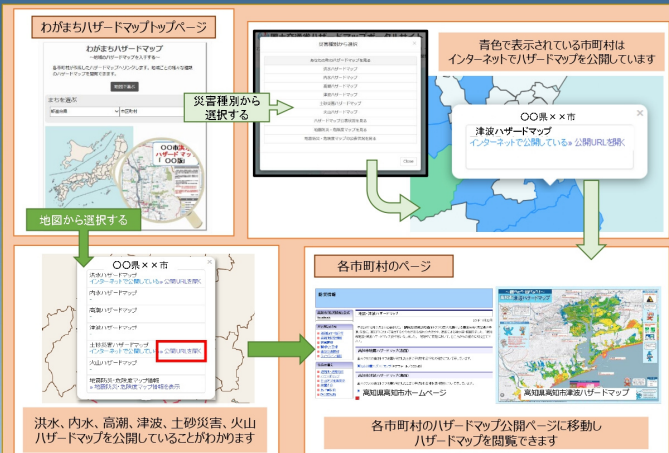


大雨時に通行が規制される箇所、リスクのある場所を地図上に表示することにより、事前に避難ルートの検討を行うことができます。

<活用例2> 「活断層図」+「大規模盛土造成地」+「急傾斜地崩壊危険箇所」



活断層の位置、及び崩壊のおそれがある場所、人工的に盛った地盤の場所を重ね合わせて、地震に関する様々な災害危険性を把握できます。



洪水、内水、高潮、津波、土砂災害、火山ハザードマップを公開していることがわかります

閲覧できる主な情報



災害リスクを簡単に調べる

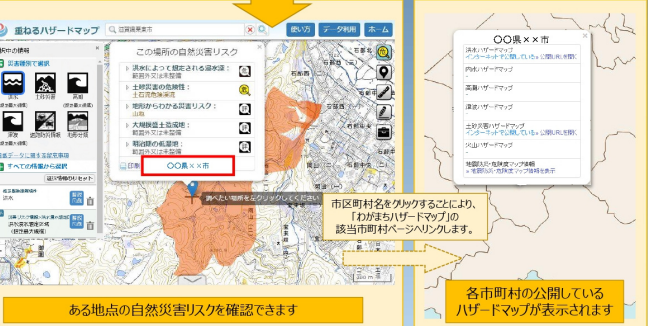
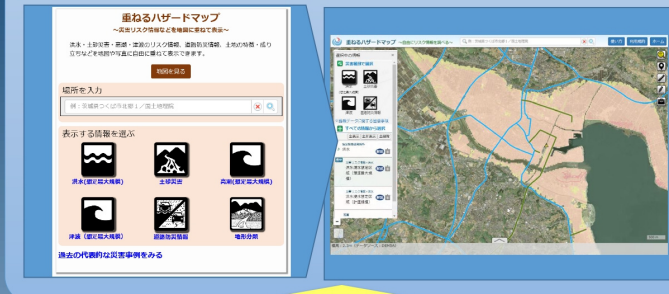
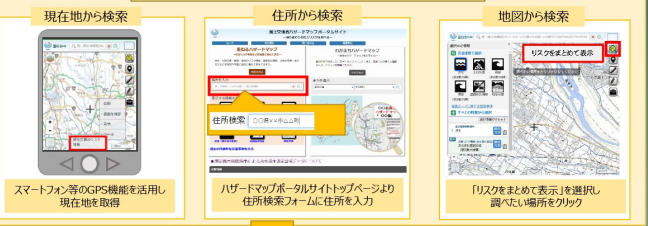
03

重ねるハザードマップ

災害リスク情報などを自由に重ねて表示できます

ある地点の自然災害リスクをまとめて調べることができます

<例>居住地(〇〇県××市)の災害リスクを調べる



ある地点の自然災害リスクを確認できます



わがまちハザードマップ 全国各市町村のハザードマップを検索できます

- 国土交通省ハザードマップポータルサイトの活用例
- 住民**
 - 避難ルート、避難方法の検討
 - 自宅付近の災害リスク確認
 - 浸水対策の検討
 - 地震対策の検討
 - 行政**
 - 防災計画、避難計画等の策定
 - 周辺市町村の災害リスクの確認
 - 公共施設の立地検討、安全度評価
 - 住民への注意喚起

要注意 秋の感染症

人恋しい季節になって参りました。いかがお過ごしでしょうか。さて今回は人恋しい以外にもウイルスが活発になる時期ですし、秋に流行る感染症とそれぞれの特徴を調べてみました。ではまず聞くことが多く、私はいつも似てるなど思っていたノロウイルスとロタウイルスの違いです。ノロの特徴は吐き気が激しく、発熱は軽微でも何度も感染し発症する。予防接種はなく特効薬もない、脱水中に注意し1日から2日

で自然治癒こんな感じで、何度もかかることが恐ろしいです。対してロタの特徴は水下痢、高熱が出るが2回目以降の感染では症状がほとんど出ない。5歳までに経腸済みになることが多く、ワクチンはあるが生後6ヶ月32週までの乳児にしか投与できない。こうやって比べると名前は似ていても、随分違うウイルスなんです。大人はロタにはなっても症状はほぼ出ないですね。

続いてなんだか必殺技みたいな名前前のマイコプラズマです。発熱、だるさ、頭痛、痰の出ない咳が特徴で、熱が下がった後も咳が1ヶ月ほど続きます。これがしんどい。多くの人は気管支炎で済むとのことですが、肺炎となり重症化する場合もあります。感染経路は飛沫で感染で、抗菌薬にて対応することが多いそうです。

RSウイルスは発熱、鼻水が特徴で多くは軽度で済むが咳が酷くなるとう気管支炎、肺炎に進展してしまふそうです。有効な抗ウイルス剤はなく、多くは飛沫感染で感染します。また怖い所は風邪と症状が似ているので気付かない内に蔓延してしまふことがあり、介護施設などでは集団発生が問題となる場合があるとのこと。WHJでも注意したいですね。



	ロタウイルス	ノロウイルス
感染の原因	主に糞口感染	主に糞口感染(食中毒)
発症年齢	乳幼児(5歳未満)	子供から大人まで
潜伏期間	1~3日	12~48時間
症状の持続期間	3~8日	1~2日
流行時期	冬の終わり~春	晩秋~冬
症状	下痢、嘔吐、白っぽい便 39℃以上の発熱や腹痛	突発性の嘔吐、吐き気、 腹痛、下痢、 37~38℃の発熱

マイコプラズマ肺炎の特徴

- 鼻水 鼻づまりの症状が少ない
- たんのない乾いたせき

マイコプラズマ

- 耳に入ると **中耳炎**
- 胃や腸に入ると **おう吐 下痢**

防災士について

皆さん防災士って知っていますか。

防災士制度は、1995年の阪神・淡路大震災を教訓として、民間の防災リーダーを育成する目的で創設され、研修(2日間で16時間)と試験マークシート方式で100問中70問以上正解)に合格し救命救急講習を終了した、災害対応の専門家を防災士と言います。

防災士は日本防災機構が認定した資格で社会の様々な場で減災と防災力向上のための活動を行います。

防災士は“自助”“共助”“協働”を原則としています。

① 自助・自分の命は自分で守る

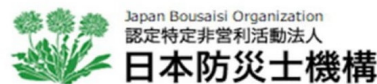
食料、飲料水、日用品、常備薬の備蓄。自宅の耐震・耐火の確保。家電・家具等の転倒落下防止。簡易トイレの備蓄、避難経路の確認等。

② 共助・地域・職場で助け合い、被害拡大を防ぐ地域におられる災害時要援護者の避難に協力したり消火活動を行う。平時に自主防災組織の活動に参加する。

③ 協働・町民、企業、自治体、防災機関等が協力して活動する。

以上の事が挙げられます。

皆さんも今自分ができる事を探してみてください。(森下・杉江)



問1 「防災士」の役割について正しいものを選びなさい。

- (1) 防災士は、大災害時、国、都道府県、市町村等防災行政機関の指揮下に入り、警察消防自衛隊等の指示を受けて活動する役割がある。
- (2) 防災士は、必ず被災地に赴き、消防活動や人命救助を行う。
- (3) 防災士は、自助、共助、協働の原則のもと、災害時適切なリーダーシップを発揮する役割を期待されている。

防災士過去問チャレンジ!!
試験ではこんな問題が出題されます
答えは次ページ

問2 阪神・淡路大震災と東日本大震災に関する記述の中で、正しいものを選びなさい。

- (1) 阪神・淡路大震災の犠牲者の8割以上は、木造住宅の倒壊による圧死・窒息死であった。
- (2) 阪神・淡路大震災の犠牲者の5割以上は、災害現場の救助活動における二次被害であった。
- (3) 東日本大震災の犠牲者の4割は、津波による水死であった。



問3 大規模地震発生の際、やむを得ず車両を停止させ避難する際に、自動車運転者として心掛ける事項のうち、正しいものを選びなさい。

- (1) 様々な活動の妨げとならないよう、災害現場から自動車を運転し、必ず道路外の駐車場で車を移動させる。
- (2) いかなる場所でも直ちに車を停止し、車両盗難防止のためドアをロックし、エンジンキーをもって避難する。
- (3) 交差点を避け、車道の左側に停車させ、エンジンキーはつけたまま、ドアをロックせず、車検証等の貴重品を持参し車から離れる。

嘔吐物処理の仕方

今回は、**嘔吐物の処理の仕方**を勉強していきます。

人の嘔吐物の中には、ウイルスがたくさん滞在しています。

正しい処理の仕方です二次感染を防ぎましょう！

①ガウン・マスク・手袋を着用します。

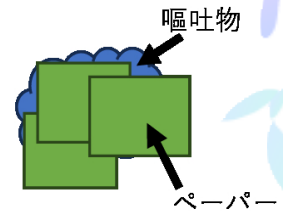
※それぞれの着脱方法については過去の防災新聞を見て下さい。

②嘔吐物をペーパータオル、ティッシュ等で覆います。

③ペーパーの上に次亜塩素酸ナトリウムをかけます。

④外側から、中心にかき集めるようにし、静かに拭き取ります。

⊗…スプレーはしないで！！（スプレーから出る風で、
ウイルスをまき散らしてしまいます。）



②のイメージ図

⑤ビニール袋に入れ、口を強く縛り、開封できないようにします。

※ウイルスはとても軽いので、広範囲にひろがります。

吐物を片付け終わったあとは、周囲3メートルほどの消毒をすると効果的！！

⑥室内の換気をします。

質問1.

次亜塩素酸ナトリウムの濃度は？

《答え》

有効塩素濃度1000ppm(0.1%)以上の
希釈液が推奨されています。

原液10ml：水590ml

質問2.

次亜塩素酸ナトリウムはどういう
時に使うの？

《答え》

インフルエンザウイルス・ノロ
ウイルスに消毒効果があるとされて
います。

答え、問1(3)問2(1)問3(3)

質問3.

次亜塩素酸ナトリウムの作り置きは出来るの？

《答え》

次亜塩素酸ナトリウム希釈液は、時間とともに弱くなってしまいますので、作り置きは**禁**

質問4.

次亜塩素酸ナトリウム以外の消毒液はない？

《答え》

微酸性の次亜塩素酸水溶液（商品名バイバイ菌）があります。刺激臭は少ないです。

質問5.

いざ！という時に慌ててしまいそうです。

《答え》

いつでも対応できるよう必要物品をいれたかごを用意しておこう！！

メビウスでは、必要物品を1つの箱に入れ、持ち運びしています。



自分が感染しない！感染させない！を目標に手技の振り返り、対策に活用していただければ幸いです☆（天木・水野）

委員長のおすすめコーナー

防災ボードゲームのススメ??

ダブルエッチジェーの皆様こんにちは。
防災委員会委員長の松原です！！

このコーナーでは毎回、私自身がこれまで見たり聴いたり体験した事の中でこれはいいなどと思う素材を紹介していくコーナーです。

今回は第6回目ということで防災ボードゲームの紹介をしていきたいと思ひます。

それでは第6回目スタート！！

皆さん、先日の法人研修はどうでしたか？私は久しぶりに大人数でカードゲームを行い、とても新鮮で楽しかったです。内容もSDGsに関連したものであつとことでより一層考えさせられるとても良い研修だったと思ひました。

そこで今回はそのテーマを防災関係にすることで皆さんに防災について考える新たなきっかけになるのでは？と思ひ、いくつか防災関係のボードゲームを紹介したいと思ひます。



まず最初に紹介するのは「シャッフル+」というカードゲームです。このゲームは「いざ」という時に役に立つ「AEDの使いかた」や「緊急用トイレの作りかた」などの防災知識を遊びながら覚

えることができるカードゲームです。ゲームの内容としては皆さんのよく知っている「7並べ」と「UNO」を合わせたようなゲーム性で何回でも遊びたくなる中毒性の高いカードゲームです。



次に紹介させて頂くのは「いっしょに逃げてもいいのかな？」というこちらもカードゲームになっています。このゲームは防災ゲームという少し特殊なジャンルからさらにペットを飼っている状況でいかにして避難するか？を題材にした珍しい内容になっています。ですが実際の震災時にはペット問題も多く起こっており、ペットの安全確保についても普段から考え備えておく必要があると思ひますのでペットを飼っている人にはぜひ遊んで欲しいと思ひました。



最後に紹介させて頂くのは「いえまですごろく」という大地震が起きてから家まで避難する過程をすごろくにしたボードゲームです。このゲームの特徴は普通のすごろくとは違って各プレイヤーが協力しながらゴールを目指す点にあります。先ほど紹介したペット防災のゲームもそうなのですがこうした防災ゲームには協力プレイを前提したものが多いのも特徴の一つです。やはり緊急時は一人の力だけでは限界があり、多くの人々が協力しあわないと本来助かっていたであろう命も助かりません。こうしたボードゲームを通じて協力する心を養うのも減災への第一歩ではないかと改めて思ひました。

今回は防災ゲームについて取り上げましたが、いかがだったでしょうか？もし興味湧きましたら実際に遊んでみるのもいいと思ひます。尚、1つ目と2つ目に紹介したゲームはそれぞれ定価が1870円、2970円と結構な金額を出さないと遊べませんが、3つ目に紹介した「いえまですごろく」はもともと有料販売でしたが今は会員登録すればデータを無料でダウンロードすることが出来るようになっています。ダウンロードしたデータを印刷すれば製品版と同じように遊べるようになっているので興味がある方はぜひ下記のサイトにアクセスして見てはいかがでしょうか？

<http://iemadesugoroku.jp/>

それではまた次回も違うネタで皆様の防災意識を刺激していきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

編集後記

この編集後記を書いてるときはちょうど秋口になりまして、送迎や通勤時によく車の窓を開けて走行しているのですが、ふいにキンモクセイの良い香りが漂ってくるものがあります。「今年ももうこんな時期かあ」とのんきに考えていると、コロナの後遺症で嗅覚障害に悩まされた時期を思い出しました。幸い症状は出さなかったが、短い間ではありましたが物が臭わないという恐怖は想像以上で毎日、鼻が痛くなるほど柔軟剤の臭いをかいで回復を確かめた日々が思い出されます。昨日まで何の不自由もなく機能していたものが突然失われる。失う恐怖は失ってから初めて分かるものだと実感しましたが、実際に経験した恐れは知識として蓄えられ、次の恐怖に備える足がかりになるということも分かりました。「正しく恐れ、正しく備える」そんな防災を目指したいものです。それでは次回も防災通信をよろしくお願ひいたします。(松原)